

# 深い泉

The Deep Fountain

幸せを探しているあなたに

## なくしたクリスマス(聖誕節)を探して

### 「クリスマス・ベビー」、主人をなくしたクリスマス

2005年文化宣教会ペトモスで、中高生を対象にでしたアンケート調査を見れば「クリスマスと関連して、まず最初に思い出す単語は何か?」という質問に、サンタクロースが29.9%、クリスマスツリーが13.4%を占めて、クリスマスの主人公である「イエス・キリスト」は7.2%にすぎませんでした。



大人の場合は、さら

に深刻だといえます。むしろクリスチャンより、商業的な目的を持ってクリスマスを待つ人々がさらに多いのです。クリスマス直前に開かれる企業の販売を促進するための行事と、高価なディナーショー、音楽会、遊園地のお祝い行事が列をなして、通りには、極めて世俗的な歌が鳴り響いています。クリスマスカードにさえも悪霊が登場して、お守りまで入っているカードもあります。「男女シングルブッキングの責任を負います」という成人用のスローガンを打ち出して進行される大衆歌手の公演、公演で最も扇情的なキスシーンを演出したカップルに、一流ホテル宿泊券をプレゼントする「熱い夜を期待しよう」というような扇情的な広告が飛び交っています。クリスマスがどんな意味を持っているのかを考えることもないまま、一夜の楽しみのために行われている罪悪は10ヶ月後に「クリスマスベビー」という現実となり、数多くの私生児と未婚の母を量産し、その子どもたちの中の相当数が生まれた国を離れて海外に養子縁組されるといいますから、本当に悲しい現実だと言うほかありません。一夜の遊興のためにカード借金をして、歓楽街ごとに狂乱して走り回る若者たち「きよしこの夜」とは全く関係ない暗やみが支配する墮落の夜になってしまっているのが、今の現実です。日本では「クリスマスはどんな日なのか知っているか」という質問に、大多数がサンタクロースの日だと思っているという、笑うことのでき

ない知らせが聞こえます。それなら、聖書が語っているクリスマスの真の意味は何でしょうか。

あなたに向かった神様の Love call、クリスマス(聖誕節) この世のすべての王、将軍、英雄より、もっと大きな影響を与えたイエス、本を書いたこともないのに、世の中でイエスに関する本を最も多く残したイエス、イエスを信じる必要がない事実を知らせるために本を書き始めたウェルリス(Wallace)を悔い改めさせて、むしろ「ベンハー」という作品を残すように人生を変化させて、アルコール中毒者ヘンデルを変化させて「メサイヤ」を残すようにさせたイエス、自殺しようと鉄道に横になっていたサンダーシングを一言のみことばでインドの聖者に変化させたイエス、黄海道(ファンヘッド)安岳(アンアク)という村のやくざだったキム・イクドゥを変化させたイエスの福音、そして世界の年度(AD、BC)の基準になったイエスはだれなのでしょう。聖書は、人間の生老病死と百八の煩悩の理由を明らかにしています。その理由が、まさに神様を離れた原罪で、罪人として受けなければならない呪いの運命で、とうてい勝てないサタンに捕われて奴隷の役をする人生だという事実です。人間が解決することができないこの問題を解決するために、神様が救い主キリストを送ると約束され、その契約が成就した日がまさにクリスマスです。イエスは「ご自分の民をその罪から救ってくださる方です」という意味です(マタイの福音書 1:21)。このイエスが、神様に会う道で(ヨハネの福音書 14:6)、罪と呪いと運命の解決者で(ローマ人への手紙 8:2)、サタンのすべての権威を完全に打ちこわされたキリストとして来られました。「イエス・キリスト」を信じることによって、すべての人生の問題から解放されて、神様の子どもになる道が開かれた、その日がまさにクリスマス(聖誕節)なのです。そして、尊いクリスマスに神様が招かれた祝福の主人公が、あなたです。





## 正しく知って おられますか

**クリスマス祝賀会** キリスト教が成立した後、はじめの 300 年間は、クリスマスの祝賀会はありませんでした。なぜなら、すべての教会の関心は、ただ十字架に釘づけられ、復活し昇天された王なるイエス・キリストにだけ集中していたためです。それで教会は、受肉について深く考えなかったのです。しかし、時間が過ぎて、キリスト教の思想家が、主の人生について、少し深い関心を持つようになりました。その時から、教会も受肉の奥深い意味に視線を転じるようになり、特に、東方のクリスチャンたちが人になって来られた神様の不思議な事件についてたくさん考えるようになりました。歴史の中に来られたイエスに対する関心が高まり、教会はクリスマスを喜びと驚きをもってお祝いし始めました。クリスマスの日というよりも、クリスマスの主人公はイエス・キリストだという事実と、神様の子どもは、毎日、救いの祝福を味わいながら、このうれしい知らせをすべての世の中に伝えなければならないという事実を知ることが、もっと重要なのです。それこそが、私たちが愛してイエス様はこの世に送ってくださった神様の切実な願いです。

**サンタクロース(Santa Claus)** 今から約 1,700 年前、オランダの「ニコラス(Nicholas)」という人が、子どもと貧しい人々に善行をたくさん施してあげました。よいことをたくさんしたニコラスが死んで、人々は「サンタ(saint 神聖な人、聖者)」という呼び名をつけて、彼の善行を記念するようになり、サンタ・ニコラスのようにかわいそうな隣人を手助けする人をサンタクロースと呼ぶようになりました。しかし、サンタクロースはクリスマスの主人公ではありません。隣を愛して、よいことをたくさんすることは良いのですが、サンタクロースが私たちの罪を許して、救ってくれることはできません。真の王、真の預言者、真の祭司であるイエス・キリストだけが、私たちが救うことができます。

**クリスマスツリー(Christmas Tree)** 一般的にマルチン・ルターがモミの木を持って行って、自分の家にクリスマスツリーを作ったのが開始だったと言われたりもします。これより 100 年ほど前から、エジプトとギリシャ、ローマの人たちが、木を持って飾る習慣があったのですが、人々がキリスト教を受け入れた時、この風習も土着化して、ともに受け入れるようになりました。常緑樹を使うのは、イエス様がこの世に来られて、新しいいのちをくださることを象徴しています。アメリカと北ヨーロッパでは星、南ヨーロッパでは馬小屋、またははっぺんに十字架を付けますが、重要なのは、イエス・キリストがクリスマスの主人公だという事実です。

**神様の子どもになる受け入れの祈り**  
愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

- 神様の子ども五つの確信**
- 1 救いの確信:** イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15~16、Iヨハネ 5:10~13)
  - 2 祈り答えの確信:** 神様の子どもはイエス・キリストのお名前前で何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)
  - 3 導きの確信:** 神様は聖霊であなただの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)
  - 4 赦しの確信:** あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(Iヨハネ 1:9、ローマ 3:24)
  - 5 勝利の確信:** 救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31~37、Iヨハネ 5:4)

**神様の子ども毎日の祈り**  
父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされ、私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



## 暗やみ、その中に 24時光を照らしなさい！

**暗やみの苦難を解決する光** 人々は、苦しむことなく生きることを願います。しかし、エデンの園であった創世記3章事件以後、創世記1章2節に存在した暗やみと混とんとむなしさの勢力は、人間に理解できない霊的問題を通して、継続的な不幸と苦難をもたらしました。あらゆる精神的な問題で苦しめられるようにさせ、肉体の病気で現れて、何の理由もないのに障害者として一生を送るようにさせ、ある人には努力と関係なく繰り返す失敗と苦難の中を生きていくようにさせました。それで、神様がこの暗やみに勝てる光を照らすと約束してくださったのです。その光が、まさに福音、イエス・キリストです。今日、私が神様の前に不信仰を下ろしたら、この光は私の人生を照らすようになります。真の成功者は、この福音の光の中で、苦難と暗やみを祝福の土台としました。大工の息子で九歳の時にお母さんを失い、正規の教育も正しく受けることができなかったリンカーンは、福音を知って、祈りの中で独学して弁護士になって、アメリカで最も尊敬される大統領にまでなりました。

ある人がリンカーン大統領を訪ねてきて「あなたの驚くべき成功と尊敬を受ける人生の秘訣は何ですか」と尋ねた時、リンカーンは一言で答えて「失敗を経験したから」と答えました。失敗する時ごとに、リンカーンの心には2つの声が聞こえてきたということです。一つは「もう終わった。もうこれ以上はだめだ」という悪魔のささやきと「失敗する時ごとに、より一層謙虚に、神様を信じて頼りなさい」という主の御声でした。リンカーンは、失敗する時ごとに、悪魔の声に耳を傾けず、主の御声に耳を傾けたのでした。南北戦争の当時、リンカーンは「神様がわれわれの側に立っておられることを信じるな。ただ、私たちが神様の側に立っているのかを確認しろ。そうすれば勝利するだろう」と話しました。ロバート・シューラーは「険しく難しい時は決して永遠に続かない。しかし、それを忍耐する者は永遠に継続する」と言いました。私たちの人生に苦難の暗やみが集まってくる時、私たちはどのようにしなければならぬのでしょうか。光がある所には、暗やみは一緒にいることができず、光があらわれる所に暗やみは離れるしかないように、福音のなかで福音を味わっているならば、全てのことは祝福になるでしょう。神様とともにいるなら、全てのことは祝福のチャンスで、すべての人は祝福の対象です。そして、私に与えられたすべての事は、神様の祝福の門になるのです。

**福音はすべての限界を越えるようにする神様の力です** それで、今から神様が私とともに、私たちとともにおられることを味わう祈り、24時光を照らす祈りを始めなければなりません。目標は、ただ伝道、この一つの中に全てのものがみな入っています。私たちに光を与えられた理由は、暗やみの中にいる人々と世の中を生かせとすることのためです。これから5つの答えが起きようになります。暗やみ文化を変える文化戦争、エリート人材で世界を生かすエリート戦争、世界を生かす1千万弟子、暗やみを本格的に砕く弟子訓練をする伝道専門訓練院、そして、国家と社会のために本当に献身するようになる答えがくるようになります。私たちがこの答えを味わうキリストの働き人で、神様の奥義を管理する者です。神様は私たちと24時ともにおられます。私たちに必要なことがあるならば、神様を信じる300%の信仰です。

説教\_柳光洙牧師、整理\_チャ・ドンホ牧師

## 毎日毎日の森の泉



### 21日(月) 祈りの挑戦(マタイ 6:32-38)

祈りが良くできない理由は、妨害するものがあるため、最も大きい壁は不信仰と人間主義です。問題を見る時、福音と霊的事実の目で見て、定刻祈りで私を確立して、常時祈りで現場と環境を越えて、礼拝祈りの中でみことばを握る時、聖霊の働きが起きようになります。

### 22日(火) ステパノの死(使徒 7:54-60)

世の中で最も怖い人は命をかける人です。他の人が知らないみことばの世界、天の世界、そして、人間の根本問題によって滅びるしかないこの世の世界を見る時、福音のための真の献身を始めることができます。福音は、あらゆることを生かす神様の力です。

### 23日(水) あなたの隣人に対し、偽りの証言をしてはならない(出 20:16)

嘘をつく霊の状態を抜け出そうとするなら、先に事実を見なければなりません。私たちは自分の前で、人の前で、未来の前で事実的な人にならなければなりません。そして、神様の前で嘘を下ろして、自分をささげる真実な祈りを始める時、自分と現場と次世代を生かす答えを体験するようになります。

### 24日(木) 思いもよらない所で答えられる主(ローマ 10:16-21)

問題が生じて、神様が答えられたら、何も問題になることはないでしょう。神様のみことばを正しく受けて黙想する時、福音を実際に味わう時、伝道と宣教を知って祈る時、神様が与えられる真の答えとビジョンを見るようになります。

### 25日(金) 伝道運動時代の主役(1ペテロ 2:9)

神様の子どもは、王である祭司で、光を宣べ伝える預言者で、時代を生かす主役として呼ばれました。福音の中で自分のアイデンティティを知って、現場の中で必ず必要なこと、絶対的なこと、時代的なことを見つけて、専門性をそるえる時、主役の祝福を味わうようになります。

### 26日(土) 弟子訓練(テモテ 2:1-7)

私の中にある福音でないものなど(律法主義、神秘主義、人間主義)を捨てて、福音中心でない自分の性格と体質を越えて、真の教会の祝福(キリスト、神の国、聖霊の働き体験)を味わうようにするのが真の弟子訓練の核心内容です。

### 週間メッセージ

**産業宣教**：教会に問題が続く理由  
(マタイ 28:16-20)

**伝道学**：必ず留学しなければなりませんか(出 2:1-10)

**核心訓練**：新しい時代のはじまり  
(使徒 13:1-3)

**聖日1部**：燭台(出 25:31-40)

**聖日2部**：妨げになるもの、つまずきになるものを置かないようにしなさい(ローマ 14:13-23)

# ハッピー クリスマス



イラスト\_ユン・スルギ

韓国でも英語をたくさん使うけれど、英語文化圏ではないことが時にはありがたく思う。韓国人は、基本的に、最低でも十年くらいは英語学習をしてきた。これは教科課程にともなう勉強の一環であって、世界の人と肩を競いながら生きなければならないというグローバルな考えを持ったものではなかった。私たちは普遍的に読む英語は習熟していても、話す英語は習熟しないまま暮らしている。

しかし、このごろの子どもたちは、外国駐在の公務や産業、あるいは早期留学の理由などで、英語を母国語の水準とする場合がたくさんある。そのような子どもたちは、学校で教える英語には飽きて、ストレスまで受けているという。文で習った英語を言葉で伝達しなければならない先生と、言葉で習った英語を文として学習しなければならない学生たちの退屈の間の衝突と言わなければならないようだ。

人生は、自分が知らない間になったこと、すなわち運命の事件の中で苦しむのだが、聖書はこのような人間の苦しみの解決のためにイエスがキリストとしてこの世に來られて、人生のすべての問題を解決したとあかししている。キリストという言葉は、油を注いだという意味であるが、旧約で預言者、祭司、王に油を注いで職分を与えるように、イエスに油を注いで人間の問題解決者としたということだ。それで、キリスト教文化を持っている西洋では、救われたこの日を記念して「キリストを礼拝する日」であるという意味で「クリスマス」と呼ぶようになった。それで人々は、クリスマスになれば、信徒でも未信者でも、おたがいにクリスマスを祝うのが常識になっている。英語をよく知らなくても、基本的に私たちはお互いにクリスマスと新年のあいさつを

「Merry Christmas & Happy New year!」と言う。聞く時ごとにうれしくて楽しい表現で、幸せなあいさつの言葉だ。しかし、いろいろある中には、クリスマスを「X-mas」と表現して、当惑させられる場合もある。Xというのは、ギリシヤ語でキリストを現わす初めての字「クス」でもある。ギリシヤ語と

英語が合わさった表現であるので、常識をもって、クリスマスと言わずに見たまま「エックスマス」と読むのは困る。また、字は時間がたつほど縮約する現象があるが、キリストという長い単語より略字でXと書けるとしても、Xという言葉は、未知の分からないという意味で使ったり、拒否する表示にも使うためだ。

このごろアメリカでは、クリスマスをホリデイ(holiday-休日、祝祭日、休暇)と呼ぶとも言われている。クリスマスは宗教的表現だからということだが、結局、クリスマスの意味を縮小、または、弱体化させて、人間の苦しみの問題の解決者であるキリストの恵みを味わわないようにさせるサタンの文化攻撃で、言語文化のかく乱といえる。キリストは、聖誕日のその日に來られたのではない。クリスマスは、だれでもイエスがキリストであることをはじめて聞いて、信仰を発見したその日が、まさに個人の人生のクリスマスになるのだ。クリスマスを拒否するXの日だと受け入れようが、思い切り遊ぶ日だと受け入れようが、クリスマスは私たちのそばに迫ってきて、また遠ざかっていくだろう。偽りの光にだまされたことがある人だけが真の光として來られたキリストを知るようになる。

今回のクリスマスに、この手紙を受けるあなたへ真に人生の幸せの鍵であるキリストを差し上げたいと思う。ハッピークリスマス!

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

\* 相談したい方はこちらまでどうぞ